

第2回 学校評議員会・学校関係者評価委員会報告

2月 17日(金)に学校評議員・学校関係者評価委員会を開催しました。学校からは、以下の取組や児童の様子と前ページのアンケート結果や学力調査の説明をさせていただきました。そして、評議員および関係者の皆様と以下のような意見交換をいたしました。

学力について

- ◆ 今回の学力テストも(結果が)よかったと聞き、とてもうれしい。少人数により、マンツーマンで指導してもらえるのは幸せなことだ。県平均を大きく上回っていることを保護者にも公表して、理解してもらおうとよい。

メディアについて

- ◆ 笠野の実態は、他の学校よりも良いと思う。アンケートの数値を見て「悪い」と捉えずに、現状を把握する指標と考えればよいのではないか。どのように捉えるかによって、見方も変わると思う。
- ◆ 「メディア」の捉え方が家庭によって違うからではないか? 「メディア=ゲーム」と考える家庭もあれば、「メディア=You Tube」と考える家庭もある。それが良くない評価につながっているのかもしれない。何を知りたい(聞きたい)のかによるが、質問内容を変えてもよいのでは?
- ◆ 「メディア」に触れることは、悪いことばかりではない。今は、スマホ・タブレットなどで簡単に検索できる時代。とても便利である。あまり気にしなくてよい。
- ◆ 親が基準を決めて取り組むようにしてはどうか。

その他

- ◆ 先日の授業参観も、児童はとても活発だった。積極的に挙手している姿を見ることができた。少人数ゆえに、意見発表の場が多い。発表回数が多いことで、人前で自分の意見を堂々と言えるようになっていく。社会に出ると、この力が大切であるから、小学校の間にどんどん力をつけてほしい。
- ◆ 「6年生を送る会」も、一致団結していて、とても良かった。企画や進行をした5年生も立派だったし、みんなで協力することで協調性も育っている。先生方の日々の努力がよく分かる会であった。

保護者アンケート及び学校評議員会・学校関係者委員会では、貴重なご意見をいただきありがとうございました。今回いただいたご意見は職員で共通理解し、今後の指導・改善にいかしていきます。

